

SUPPORTERS

サポーターズ

No.159 2022 春号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ

<http://ypta.jp/>

会員数 926名 施設数 144 (R4.2.18現在)

「supporters (サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形のsを加え、supporters：支える人たち（造語）の意味です。



CONTENTS

創立50周年記念事業の報告と御礼	2~3
山梨県理学療法士会 事業説明会の開催	4~5
活動報告	6~7

● 学術研修部	
● 認知症対策委員会主催第二回学術研修会	
● 第73回スポーツ理学療法勉強会	
お知らせ ● 事務管理局	8~9
リレーエッセイ Part40	10~11
原稿募集	10
編集後記	11

創立50周年記念事業の報告と御礼



創立50周年記念事業実行委員会
事務局 小林 正樹
(山梨福祉総研)



*1) Googleドライブ: 50周年記念事業成果物

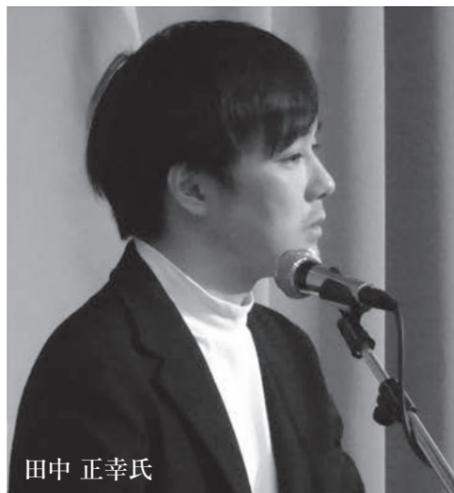
当士会は、令和3年7月で創立50周年を迎え、同年10月23日に「創立50周年記念講演・式典 半世紀先を見据えて～今までと そしてこれからと～」を開催いたしました。

開催にあたり、記念事業である記念講演・式典・祝賀会、記念誌の発行等の準備を目的に令和2年8月に実行委員会が発足しました。しかし、時はすでにコロナ禍。感染状況の予測が読めない中、開催の有無を含め、状況に応じて様々な開催様式を想定した準備を進めて参りました。



最終的には、十分な感染症対策を講じた上で県内来賓者のみ会場にお迎えし、オンラインとのハイブリッド形式として開催することになりました。その中で、祝賀会の中止や多くの県士会の皆様を巻き込み、盛大に祝う事ができなかったことは残念でした。

まず記念講演においては、公開講座部との共催事業として、ドラマや本でおなじみの「左手一本のシュート」のモデルである田中正幸氏をお招きし、高校入学直前に脳出血で倒れ、その後強い意志の下、再びバスケのコートに立ち、シュートを決める奇跡の瞬間までの様子や、その時感じたことなど実際の経験をもとにお話し下さりました。



田中 正幸氏

今回は講演の他、対談時間を設け、視聴者の質問に答えていただいたり、リハビリテーションを行った中で感じたりしたこと、またその先の挑戦など有意義な内容のお話しをお聞きする事ができました。今回オンラインでの開催のため、一般の方や県外からも申し込みがあり、多くの方にご視聴していただきました。



その後行われた記念式典では、山梨県知事（代理出席）をはじめ、県内の関連する諸団体の来賓にご臨席賜りました。また、県外からの来賓者である日本理学療法士協会会長の斉藤秀之先生をはじめ、関東甲信越ブロック協議会に所属する各都県士会会長の皆様にはオンラインにてご臨席を賜り、式典のステージ上にその画面を映写し、県内の来賓者とあわせ、多数お祝いのお言葉を頂戴しました。また、当日はこの様子を参加者の皆様にご視聴いただくという新たな開催方式にて挙行することができました。

そして完成しました創立50周年記念誌は、電子データを加えました。そちらには、記念誌に掲載のない内容もありますので、ぜひご覧ください。^{*1)}

また、本記念事業においては、不慣れな中での開催となり、至らぬ点が多々あったかと思いますが、何卒ご容赦いただきたく存じます。



さて、テーマ「半世紀先を見据えて～今までと そしてこれからと～」にもありますように、皆様には今回の記念事業を通じ、社会に求められる理学療法士として、更なる持続可能な発展を遂げるための機会となれば幸いです。

結びに、本事業の開催にあたり、相談役である故小林伸一前会長、磯野賢会長をはじめ、この場には書ききれない多くの皆様のご指導やご支援、温かい言葉が私たちの活動を支えました。深く感謝いたします。



山梨県理学療法士会 事業説明会の開催

山梨県理学療法士会 会長
磯野 賢

令和3年12月17日（金）Zoom によるオンラインで山梨県理学療法士会“事業説明会”を開催させていただきました。

COVID-19 感染拡大前には例年6月に新入・転入会員を含めた県内各施設の会員が一堂に会し開催する県士会交流会、相互の親睦を図るとともに士会役員（理事・監事）の紹介や事業説明を行うことで士会活動へのご理解をいただいていた。



交流会風景 2019年6月14日撮影

しかしコロナ禍の中、県士会交流会はこの2年間開催できず、会員の皆様に士会活動を説明しご理解をいただく貴重な機会の一つが失われております。このような中でも県士会の事業は継続しており、今年度は特に大きな2つの事業を行ってまいりました。会員の皆様には、このような活動をぜひ知っていただき興味を持って、今後の士会事業に参加していただきたいとの思いから、事業計画にはないことでしたが、事業説明会を開催させていただきました。



今年度の大きな事業の一つが山梨県士会50周年記念事業です。半世紀の歩み、先輩たちの思いを次の世代につなぐ大切な事業です。本来であれば会場で会員のみなさんとともに祝いたいと考えておりましたが、感染拡大に伴い Web での発信とさせていただきます。

もう一つが山梨県リハビリテーション専門職団体協議会の合同学術大会です。3年ごと3回目の開



催では理学療法士会が中心となり、OT 士会・ST 士会にもご協力いただき初めての Web での大会を成功裏に行うことが出来ました。

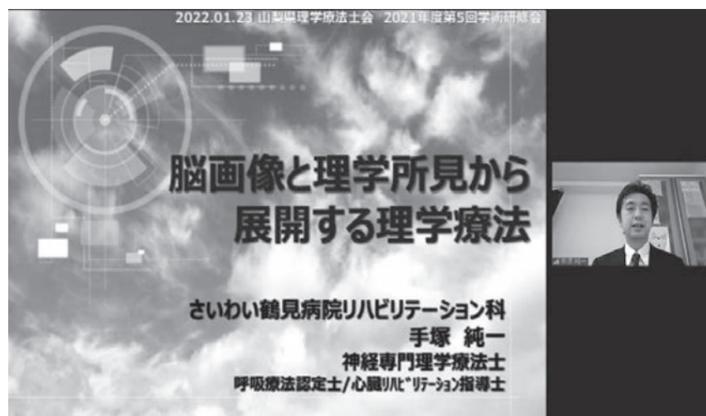
それ以外でも各部局で柔軟に考え、工夫しながらしっかりと事業を企画、実施しており、その役割や内容を足早とはなりましたが説明させていただきました。

このような事業を通して山梨県理学療法士会の活動を知っていただくとともに、会員一人一人が関心を持ち、研修会に参加、県士会が県民向けに行う事業に参加、そして各部局の部員になっていただき、会の運営そのものに参加していただきたいと思っております。そうすることにより他の病院・施設の PT と知り合い、新たなネットワークができ、ご自身の成長と県士会も更に発展するのではないかと思います。今後とも積極的に情報発信を行ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



各部活動報告

学術研修部



2021年度の学術研修会は「理学療法士に求められる装具療法の基本的知識－脳卒中片麻痺者に対する装具療法を例として－」、「学習理論に基づく認知症患者への介入方法」、「膝関節の機能評価と理学療法」、「心不全の運動療法エビデンス」、「脳画像と理学所見から展開する理学療法」をテーマとして、2020年度と同様に全てオンラインにて開催いたしました。また、例年4回開催している学術研修会を認知症対策委員との共同開催を含め5回開催するなど、新たな試みにも取り組みました。

来年度も引き続き理学療法分野における最新の知見を届けられるよう、オンライン研修と並行して対面による研修会開催について準備・検討していきますので、多くのご参加をお待ちしております。

COVID19の新たな変異株「オミクロン株」による感染も拡大しつつある状況ではありますが、会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

★ お問い合わせ先：学術研修局 学術研修部 渡邊 修司
(帝京科学大学：s-watanabe@ntu.ac.jp)

認知症対策委員会

認知症対策委員会主催 第二回学術研修会

令和3年8月29日に認知症対策委員会として初めての研修会を学術研修部と合同開催させていただきました。研修会講師は高知リハビリテーション専門職大学 教授 山崎裕司先生に『学習理論に基づく認知症患者への介入方法』というテーマでご講演いただきました。認知症と整形・中枢疾患として入院されている患者に認知症が合併しており機能訓練や動作定着が困難なケースなど難渋する事があります。従来から提唱されている基本的な対応方法のみならず、理学療法を用いて動作から介入方法、行動分析学を主とした臨床推論をご教授いただきました。また、多くの動画資料の提示をいただき理解しやすく、明日の臨床に活かせるものを多くご提示いただきました。

今回開催にあたり学術研修部の皆様にご協力頂き開催する事ができました。感謝申し上げます。また、山梨県作業療法士会・山梨県言語聴覚士の活動を参考にさせていただきながら、当会会員の皆様に有益な情報を発信していきたいと考えています。

★ お問い合わせ先：認知症対策委員会委員長 大西 健太
(介護老人保健施設フルールむかわ：kenta.4786@gmail.com)

スポーツ理学療法部

第73回スポーツ理学療法勉強会

令和4年1月19日(水)、オンラインにて第73回スポーツ理学療法勉強会を開催いたしました。COVID-19の影響でなかなか開催できなかった勉強会もようやく開催にたどり着くことができました。今回の勉強会は「東京2020オリンピック・パラリンピック活動報告～活動参加の準備から実際のかかわりまで～」と題し、山梨県理学療法士会オリ・パラスポーツ委員会委員長 小尾伸二先生他、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にかかわった県内理学療法士計8名の先生方をお招きし、かかわるまでの準備から実際の活動についてご報告いただきました。小尾先生からは日本理学療法士協会、山梨県士会としての活動準備の内容や実際の活動状況についてのご報告がありました。その後それぞれの先生から具体的な活動内容や印象に残ったエピソード他、貴重なお話を聞くことができました。参加した先生の中には実際に選手にかかわった先生もいれば、かかわることができなかった先生もいます。「英語でのコミュニケーションが難しかった」、「様々な人との出会い人脈が増えた」などの感想が多かったように思います。山梨では以前からスポーツPT部として現場活動や国際大会の経験、事前研修によって比較的スムーズに大会に参入できました。これも常日頃の県士会のご理解、ご協力があるからこそです。この体験を還元できるようにスポーツPT部の活動を盛り上げていきたいと思っております。ありがとうございました。



◆ 県士会員対応者

小尾伸二先生	上野原市立病院	パラリンピックサイクリング選手村分村
佐藤美帆先生	山梨大学医学部附属病院	オリンピック卓球 競技会場
土橋興太先生	韮崎市立病院	パラリンピックサイクリング選手村分村
服部潤先生	山梨リハビリテーション病院	パラリンピック晴海選手村本村
三木伸太郎先生	山梨リハビリテーション病院	パラリンピック車いすバスケットボール 競技会場
森田伸哉先生	健康科学大学クリニック	パラリンピックサイクリング選手村分村
平井郁弥先生	テイサービスこいろ	オリンピックバレーボール協会推薦 競技会場
小林幸一郎先生	山梨大学医学部附属病院	ウエイトリフティング 競技会場

スポーツ理学療法部員募集中

年齢・経験・性別など一切不問です。士会員であればどなたでも参加できます！

部員募集

山梨県士会では、スポーツ理学療法部員としてスポーツ現場で活動していただける方を常時募集しています。現在、COVID-19の影響により感染対策を行っての対応となっています。この分野に興味をお持ちの先生方のご参加をお待ちしています。

◆ 活動内容 ・スポーツ大会における理学療法サービスの提供
・チームに帯同しての理学療法サービスの提供
・スポーツ理学療法に関する講演や教育活動

◆ 研修日 ・毎月第1・3火曜日 19:00～(おむね2時間)
・社会情勢を考慮し現在は zoom での対応

★ お問い合わせ先：社会局 スポーツ理学療法部 小林 幸一郎
(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部：
kokobayashi@yamanashi.ac.jp TEL: 055-273-9805 FAX: 055-273-8372)

事務管理局からのお知らせ

= 重要なお知らせ =

◆ 会費の納入期限について

2022年度分の会費の納入期限は2022年(令和4年)3月中になります。

クレジットカード、口座振替の会員については、3月中に引き落としになります。

引落登録のない会員については、振込用紙が順次発送されます。

注意:振込用紙を利用されている会員につきましては、

用紙到着から納入までの期限が短くなる場合があります。

3月末までに納入のなかった場合は、4月から会員権利の全面停止、

6月末までに納入のなかった会員につきましては、会員資格喪失により退会、となります。

*退会となった場合、これまで獲得した生涯学習ポイント等はすべて失効となります。
再度在会を希望した場合は「新入会」となり新人教育プログラムからの再履修が必要です。

◆「4月以降の異動が決定した場合(特に県外へ)」は、可能な限り早めの申請をお願いします。

◆「休会、退会」を希望される会員は、2022年3月31日に手続きを完了できるよう早めに申請をして下さい。

*期間内に手続きが完了した場合は、引落決済確定後も後日返金されます。
*年会費納入確定後4月2日以降に申請をされた場合は、返金されませんのでご注意ください。
*休会については1年毎の申請が必要です。

会員情報の変更手続き(異動、休会、退会、会費納入方法等)については、

協会HPの「マイページ」から手続きを行ってください。

マイページにアクセスするには、協会が各個人に発行したIDとパスワードが必要です。
「IDやパスワードがわからない」という方は、協会HPから再発行の手続きをお願いいたします。

「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、

お手数ですが日本理学療法士協会まで問い合わせをお願いします。

(公社)日本理学療法士協会 TEL:03-5843-1747

*会員情報につきましては、(公社)日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理されているため、県士会単独では対応できません。

◆(公社)日本理学療法士協会の年会費割引制度の案内

日本理学療法士協会には年会費の「育児休業割引」、「シニア割引」、「海外会員割引」があります。

詳細は日本理学療法士協会HP「年会費」をご覧ください。

◆ 会員の慶弔があった場合について

一般社団法人山梨県理学療法士会 慶弔規定に基づき対応いたします。

山梨県士会HPの「お問い合わせ」のページ内にある「会員慶事通知フォーム」、「会員弔事通知フォーム」からお願いします。

◆ 事務管理局への問い合わせについて

山梨県士会HPの「事務管理局への問い合わせ」メールフォームからお願いいたします。

インターネット環境がない会員の方は、

山梨県立あけぼの医療福祉センター 療法科内 担当 有泉

TEL:0551-22-6112(療法科直通)までお願いします。

◆ メール配信について、アドレス登録のお願い

令和2年9月1日から当士会独自のメール配信システムを稼働しました。

令和3年4月からは「紙文書による通知は廃止」、「原則メール配信のみによる通知」となっています。

引き続き会員の皆様には、アドレス登録についてご協力いただきますようお願いいたします。

- ・登録メールアドレスは1会員1アドレスでお願いします。
- ・一度登録したアドレスを変更する場合は、登録解除フォームにて登録メールを解除後に、新しいアドレスを登録しなおしてください。

メール登録フォームURL:

<http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showRegisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf>



登録メール解除フォームURL:

<http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showUnregisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf>



*会員番号について

会員番号は日本理学療法士協会と共通になっております。

会員カードに記載されている8桁の番号になります。

理学療法士免許の登録番号ではありません。

ここに記載されている8桁の番号です





途絶えることのないバトンを君に /

リレーエッセイ

『リレーエッセイ』とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前の Supporters にあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

Part 41-1

みのりの里 介護老人保健施設旭ヶ丘 渡辺 格

上野原市立病院の澤田誠先生よりご紹介いただいた渡辺格です。今回は私自身が感じた「住めば都」という言葉について、お伝えしたいと思います。現在私は上野原市に移って約4年が経過しました。私の出身はビル街やイベント会場等で有名な「千葉県の海浜幕張」でした。なぜ、この上野原市に移住してきたかという、義理の父が現在勤務している施設の理事長をしており、施設の「リハビリ」を手助けするためというのが、大きな理由となります。移住してきた当初は、地元の海浜幕張と違い、駅周辺や町全体の明るさ、そして買い物等色々な場面で戸惑いがありました。しかし、時間が経過するとともに、近所の人から野菜を頂いたり、これまで出会わなかった人間の温かさを直に感じる事ができ、今では住み心地の良い場所となりました。そのためこの経験から「住めば都」という言葉を日々感じながら過ごしている毎日です。



今回のバトンは帝京科学大学の相原正博先生です。

原稿を募集しています!

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

● 問い合わせ先：広報局 会報部 宇月正明
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366
E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※ 第160号発行は、2022年9月を予定しています。

原稿の締め切りは

8月中旬です。

リレーエッセイ

Part 41-2

介護老人保健施設 NAC 湯村 長沼 大



石和共立病院の浅井敬太先生からバトンを受け取りました、介護老人保健施設NAC湯村の長沼です。

現在笛吹市境川町に住んでいますがお国自慢と言われても。。。NAC湯村の紹介と言われても。。。という感じなので、今回は我がヴァンフォーレ甲府について書きたいと思います!!VF甲府ですが、昨シーズンは好不調の波が大きく(連勝したかと思えば急に勝たなくなり、終盤の下位チームに取りこぼしたのも悔やまれますね)残念ながらJ1昇格とはなりませんでしたが、今シーズン

は長谷川選手、宮崎選手、関口選手などの昨シーズン活躍した若手、荒木選手や山田選手、エースのリラ選手が残留してくれました。去年の後半のいい流れをそのまま引き継いで悲願の昇格を達成してくれるのではないかと期待しています。今年こそはネット観戦ではなく、スタジアム観戦に行けるようにならなう。

今回は、特別養護老人ホーム田富荘 森田亮一先生にバトンをつなぎます。

編集後記



全ての医療・福祉に従事されている方々と、お忙しい中、快く執筆していただいた諸先生方に感謝申し上げます。また会員と県民の健やかなることを祈念いたします。

さて2021年7月に世界でドイツに続き2番目、日本初のゲート型商用量子コンピュータ実機稼働。日経サイエンスにて「IBM Quantum System One」を知る。「ibm_kawasaki」と名付けられた量子コンピュータの使用は、商学連携に大きな成果を挙げつつある。読み進むと日本IBM株式会社、西林氏の対談記事があった。「従来の古典コンピューティングでは解決が困難な、複雑で大規模な課題を解決する可能性を秘めた量子コンピュータは…」とあった。「ほー、へー」とまた読み進み、ん?ということは?いま私の使用している「これ」は古典で、しかもそれさえも制御しきれていない。

また会報誌発刊の際には引き続きご協力お願いいたします。

宇月 正明

- 【発行】 一般社団法人 山梨県理学療法士会
- 【代表】 磯野 賢
- 【企画・校正】 宇月 正明 古澤 淳一 進藤 圭一郎 立澤 俊貴 一瀬 智之
- 【編集・印刷】 株式会社 たけまる
- 【会報部】 〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
医療法人 景雲会 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366
E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



